

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度 平成12年4月1日から(狂犬病予防事業)			
総合計画	大項目	基本目標	02 健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	基本施策	02 健やかで生き生きしたまちづくり
	小項目	施策	05 結核・じん肺
事務事業名 03 感染症予防事業			
根拠法令・規程等		狂犬病予防法・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律	
担当課(室)		保健課	
職・氏名		健康係長・白髭由美子	
電話		64-1820	

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	犬の所有者、被災住民等
目的(何のために)	狂犬病及び感染症の発生を予防し、その蔓延を防止し、住民の健康保持に努める。
行政活動(どのような方法で)	犬の登録、狂犬病予防注射の実施及び注射済票の交付 災害時等における消毒等の防疫活動及び感染症予防の衛生教育
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	狂犬病予防注射の接種率の向上

事業の実績					
実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績	
犬の新規登録	件	180	208	186	
狂犬病予防注射済票の交付	件	1,420	1,528	1,482	
集合注射	ヶ所	72	64	67	
年度末犬登録頭数	件	2,180	2,170	2,180	
事業費	千円	4,937	2,494	2,977	
必要人員	人	0.65人	0.36人	0.43人	
受 益 者 負 担 比 率	%	27.6%	58.2%	44.4%	

結果指標					
結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績	
犬の新規登録数	件	180	208	186	
対前年対比	%	-	115.6%	89.4%	
活動コスト	円	4,937,000	2,494,000	2,977,000	
単位当たりコスト	円	27,422	11,990	16,005	
狂犬病予防注射済票交付数	件	1,420	1,528	1,482	
対前年対比	%	-	107.6%	97.0%	
活動コスト	円	4,937,000	2,494,000	2,977,000	
単位当たりコスト	円	3,477	1,632	2,009	

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
狂犬病予防注射接種率	目標値(A)	65	70	75	75
	実績値(B)	65.14	70.41	67.98	到達目標年度
	達成率(B/A)	100.2%	100.6%	90.6%	平成20年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
(狂犬病予防注射済票の交付/年度末犬登録頭数) × 100					

事務事業の評価				
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	妥当性評価<A~E>	B
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 説明 身近な地区での集合注射実施の要望	判定理由・課題認識	狂犬病は、事業を継続的に行うことにより、昭和32年以降国内では発生していない。今後も継続していく必要があり、広報紙や犬の所有者への通知により、市民への周知を図っている。 また、感染症については、県からの速報等を広報・チラシ等で迅速に市民に伝え、注意喚起を図っている。
	効率性の評価	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E>	B
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	判定理由・課題認識	社団法人岡山県獣医師会に手数料の収入事務を委託し、市民の利便性と事務の効率化を図っている。
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	有効性評価<A~E>	C

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりのコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

平成21年度の状況						
目標値	結果指標量①	200	結果指標量②	1,500	成果指標量	70
状況	拡充		現状継続		見直し	○
説明	集合注射の時期を早めて実施したが、やはり集合注射は昨年度数の維持がやっとの状況だった。今後は、民間業者で受けた場合犬の注射済票の交付が必要なことの周知を図りたい。また、感染症予防事業については、新型インフルエンザによる感染が拡大し、感染予防の啓発、必要物品の備蓄等に対応した。					

総合評価	
<p>狂犬病予防事業に関しては、予防注射の接種率の向上に努めているが、民間業者で受けた犬の注射済票の交付が少ないため予防注射の接種率の低下につながっている。今後は、民間業者で受けた犬の注射済票の交付向上を目指す。感染症予防事業では、新型インフルエンザ国内発生を受けて危機管理上の課題が明確になったため、今後行動計画等を策定し対応していく必要がある。</p>	<p>評価区分<A~E></p> <p>B</p>

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充		現状継続		見直し	○
説明	狂犬病予防を含む感染症対策として、市民への正しい情報の提供による啓発を重点的に実施する必要がある。					
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果		
有効性		民間業者で注射を受けた犬の済票交付の周知徹底	22年度~	より正確な接種率の把握ができる		
効率性		人材派遣の活用	22年度~	事務の効率化		